

## 【2025年度】児童発達支援事業所における自己評価総括表(公表)

|                |                          |    |        |    |  |
|----------------|--------------------------|----|--------|----|--|
| ○事業所名          | ハッピーライフたいしょう             |    |        |    |  |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年11月20日 ~2025年12月20日 |    |        |    |  |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                   | 4人 | (回答者数) | 4人 |  |
| ○従業者評価実施期間     | 2026年1月15日 ~2026年1月31日   |    |        |    |  |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                   | 6人 | (回答者数) | 6人 |  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年2月10日               |    |        |    |  |

### ○分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                   | さらに充実を図るための取組等                                      |
|---|--|---|---|
| 1 | 幅広い年齢層のお友達の中でコミュニケーションの力を育める。              | 年齢を超えた子どもたちの関りは、新たな一面を知る機会でもあり、興味や関心が広がる。               | 自分の限界を決めつけるのだけは無く、チャレンジ精神旺盛に伸び伸びと活動ができるようにしていきたい。   |
| 2 | 近くにたくさん公園があるので戸外遊びが出来る。                    | 子どもたちの体調を考慮し、元気いっぱい外で身体を動かす機会を設けている。                    | 戸外遊びが出来る時間を作るにはどのようにすればよいか、時間を見ながら自分で計画を立てるようにしている。 |
| 3 | 土曜日・長期休みのお出かけ企画が充実している。                    | 保護者からの要望にはなるべくお応えできるように考えている。子どもたちからの意見も大切にし、活動に取組んでいる。 | 新しい経験や体験型の施設を活動に取り入れたり、地域に役に立つ取り組みをしている。            |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること    | 事業所として考えている課題の要因等                       | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                             |
|---|---|---|--|
| 1 | 専門職(言語聴覚士)が在籍していないため専門職の視点や専門性を十分に活かせることが難しい。 | 専門職の方の応募がなかなか来ない。                       | 見学や説明の機会を増やす。                                    |
| 2 | 幅広い年齢層の集まりの為、周りから聞こえる不適切な言葉などを真似してしまう事がある。    | 一部の不適切な言葉を使うこどもに、正しい言葉で言い換えをするように促している。 | コミュニケーションを大切にしながら適切とは何か・不適切とは何かを学んで行けるようにしていきたい。 |
| 3 | 地域交流の活動があまりできていない。                            | 保護者からの要望があまりないが、他のデイサービスと交流していきたい。      | 社会性を育ていけるようにしていきたい。                              |